



注1:テントの寿命を延ばすために、足の長さをバラバラにして使用することはお勧めしません。それぞれの足が他の足と同じ高さになるように使用してください。

注2:平らではない場所に設置する場合の高さの差は5cmです。テントを固定しない限り、足を様々な高さに調節できます。

注3:柱が6本以上の大型テントでは最低4人~6人で組立・設置をお願いします。※柱1本につき1人での人員を推奨します。

注4:収納する際、動くスライダーで手や手袋を挟まないようご注意ください。手袋などが挟まり柱がロックされたまま無理に収納すると本体を破損する恐れがあり危険です。

**1** フレームの角柱を掴み少し持ち上げながら後ろに下がります。両手を広げて動けるところまで広げ、地面にフレームを置きます。(平らな地面の上で行ってください。)



**2** 両手でクロスバー部分を持ち、少しずつ外側へ引っ張りずらします。中央のバーが上がり始めるとフレームがすぐに広がります。※移動するパイプに手などを挟まないようご注意ください。



**3** テントの寸法を確認しながらフレームの上にテントを被せます。テントが均等に分散されていることを確認し、この時点では天幕を軽く覆う程度に設置します。



**4** フレームの四隅にはマジックテープがついています。天幕と四隅のマジックテープを合わせます。



**5** \*ポイント:各フレームの上部に天幕の当て布部分が当たるように調節してください。



**6** 手順2と同様に、クロスバー部分を持ちながら外側へ引っ張りずら本体フレームを最大に広げます。



**7** 隅柱の下についているパッドを踏みながら各足のスライダーを「カチッ」と音がする部分まで押し上げます。これをすべての柱に行います。



**8** 天幕の内側についているマジックテープをフレームのトラスバー部分に括り付けます。\*テントを畳む際にはマジックテープを必ず外してください。



**9** フレーム下部のプレートを読み、調整リングを引っ張るとリングの固定が解除され足が伸びるようになります。お好きな高さに調整してください。これを全ての柱に行います。



**10** セットに付属している張網用ロープは常に使用してください。足の高さを上げる前にロープを外側から上部フレームの足の内側に通します。ハトメに通したらフレームの外側にしっかりと結び目を作ります。



**11** テントが組み立てられて正しい高さになったらすぐに一人がフレームの中央を持ち、ほかの人がフレーム下部のプレートにある3つの穴のいずれかにベグを通してください。風が強い場合はベグを2本使用してください。



**12** 上から15~45度間の角度にハンマーを使ってロープを通したベグをしっかりと打ち込みます。\*風の強い日はベグ+ロープだけではなく別売りのテントウェイトを必ず設置してください。

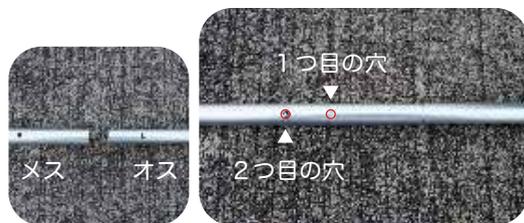




**1**  
まず、付属のパイプと連結パーツを準備します。



**2**  
左の画像のようにオスとメスのパイプを用意し、右の画像のように2つの目の穴までしっかりと連結します。  
※この際、手などを挟まないようにご注意ください。



**3**  
コーナー（角）とセンター（中心）で形が異なるので、向きを確認し、パイプを挟み込むようにしてねじ止めしていきます。  
※コーナーでも角の形が合わないと噛み合いません。それぞれ四つ角の支柱の形に沿うように組み合わせてください。



**4**  
床幕をパイプの下をくぐるようにして設置します。マジックテープが外側を向くように巻き込みます。



**5**  
隅柱から順番に横幕のマジックテープを天幕の内側のマジックテープに均等に取り付けます。横幕と天幕をできる限りしっかりと密閉したまま、フレーム全体を囲うように壁に沿って取り付けます。その後、天幕と同様に床幕のマジックテープに取り付けます。



**6**  
横幕を本体に固定するためにマジックテープをフレームに巻き付けます。



**7**  
横幕を完全に取り付けたらファスナーを使用して2つの横幕を結合します。生地を引っ張りながらファスナーを引き下げてください。



**8**  
窓を作る際にはファスナーをあげ、窓を巻き上げ、留め具を使って固定します。

